

各 位

上場会社名 リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
 代表者 代表取締役社長 齋藤 貴
 (コード番号 9836)
 問合せ先責任者 ファイナンスコントローラー 阿部 禎人
 (TEL 03-5785-5600)

業績予想の修正および営業外収益の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年1月17日付「平成26年11月期 決算短信」にて公表の業績予想(個別)を下記の通り修正します。また、連結子会社の清算に伴い営業外収益が発生しますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,800	△300	△290	△300	△10.37
今回修正予想(B)	5,232	△379	△361	△454	△15.71
増減額(B-A)	432	△79	△71	△154	
増減率(%)	9.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年11月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成26年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,600	△830	△800	△850	△29.38
今回修正予想(B)	10,000	△800	△700	△840	△29.03
増減額(B-A)	400	30	100	10	
増減率(%)	4.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年11月期)	9,205	△698	△611	△685	—

修正の理由

平成26年1月17日の「平成25年11月期 決算短信」にて公表の業績予測(個別)と比較しまして上記の通り第2四半期累計期間の業績を修正します。
 業績修正の理由は、消費増税後も好調な売上が維持したため売上が伸張しましたが、円安に伴う仕入コストの上昇及びロジスティック費用等の一時的な費用が生じ営業損失が当初予測より増加しました。
 また、特別損失として当初見込んでいなかった人員削減に伴う特別退職金64百万円が生じたため四半期純損失が増加しました。

通期予測につきましては、清算中の子会社LVC JP株式会社からの受取配当金が64百万円生じ経常損益が改善しますが、その他の利益は当初予測と比較して大きな変動はございません。

以 上